

第69回通常総会

本組合の第69回通常総会が5月19日午前9時30分から札幌コミュニティプラザで開催されました。総会には正組合員183名の内、委任・書面議決を含む120名が出席しました(出席率65%)。平成28年度事業報告、平成29年度事業計画の設定など11議案を審議し、全議案が原案通り可決決定されました。



取扱高0.6%増 畜産好調で前年並

高橋組合長

高橋組合長による開会の挨拶では、「昨年の営農を振り返ってみますと、春先は強風に見まわれた時期もありましたが、植付作業は概ね順調に進みました。しかしながら6月に入りまして天候不順がつづき、これが小麦の開花や収穫に大きな影響をもたらし、品質収量ともに前年を大きく下回りました。8月にはたてつづきに4つの台風が上陸・接近し、農作物に大きな被害をもたらしました。一部圃場では表土の流失や土砂の流入により収穫や耕作を断念せざるを得ない結果となりました。畜産では良質飼料の不足、濃厚飼料の高騰、乳量の減少などマイナス要因が多々ありましたが個体販売、和牛素牛は高値で推移いたしました。このように昨年は私たちがかつて経験した事のない未曾有の災害の年でありましたが、当組合の農畜産物の支払い高は交付金を除いて、37億6千281万円、経常利益で6千872万円となり、計画以上の成果を上げる事ができました。これもひとえに組合員皆様の日々の営農努力と組合への結集の賜物と深く感謝申し上げます。」と挨拶しました。引き続き飯田町長をはじめ来賓挨拶を戴き、議事に入りました。

28年度当期末処分剰余金7千4百万円、剰余金処分案では出資配当(0.8%)、事業分量配当2千4百万円の明細が示され原案通り承認されました。

平成29年度の収支計画では、事業総利益が5億2千9百万円、経常利益は4千8百万円、当期末処分剰余金は4千5百万円を見込んでいます。

新年度の固定資産の取得については馬鈴しょ選別施設照明更新、長芋用ハーフコンテナなど原案通り承認されました。

平成29年度幕別町畜産祭り

平成29年度の幕別町畜産祭りが南勢牧場多目的広場に於いて開催されました。

当日は天候にも恵まれ絶好の共進会日和になりました。町内各地の畜産農家の皆様が丹精込めて育てた乳牛46頭、和牛15頭が出陳され、体格や毛並等を競いました。

乳牛の部では、当農協組合員出陳の「ノース ジェラルデイン ゴールドフローラル」が経産牛・準最高位賞を獲得し、「セントベール スプラツシユ クリーミー」が2才経産牛・1等1席を獲得、「サベージ ラコタ ミステイ」が5才経産牛・1等1席を獲得いたしました。

昼食にはバーベキューで参加者同士の交流を深め、毎年恒例のジャッジコンテストも行われ、一般の方も牛を間近に見ながらコンテストに参加しました。



経産牛・準最高位 「ノース ジェラルデイン ゴールドフローラル」

平成29年度 新規就農者激励会

今年度から農業後継者として就農する方々を励ます新規就農者激励会が、6月23日に開催されました。この春に学校を卒業された方、Uターン就農される方など4名が出席し高橋組合長、川瀬幕別副町長、青年部部長、女性部部長から祝辞をいただき、高橋組合長から激励状が送られ「広い視野で学び1日も早く一人前の経営を」と決意を新たにしました。



農村ホームステイ

昨年に引き続き、「農村ホームステイ」事業が十勝管内の農家で行われ、大阪府立今宮高等学校の2年生の生徒273名が農業の生産現場を体験しようと来勝し、幕別町へは、1クラス37名の生徒がやってきました。幕別町では「まくべつ稔の里」が主催で修学旅行生に農村での生活を体験し農業と日常生活のつながりを学んでもらう事を目的に、平成24年から行われており今年で5年目になります。

6月20日に幕別町集団研修施設こまはたで入村式の後、札内地区の受入れ農家である日新地区1件、途別地区2件へ計8名の生徒が移動し、搾乳や畑作の手伝い等を行い、「都会では味わえない経験ができました。」「空気が澄んで満天の星がとてもきれいでした。」「充実した2日間を大自然の中で過ごす事ができました。」と生徒たちは話していました。

都会では経験ができない十勝の気候と自然の中で、組合員の方々との楽しいひと時を送った生徒達は別れを惜しんで涙を流す場面もありました。

